

2025年3月期第1四半期(4-6月)

決算説明資料

2024年8月9日

KATO

株式会社 加藤製作所

目次

| | |
|--------------------|---------|
| 1.セグメント(製造拠点)別状況 | P.2 |
| 2.業績サマリー | P.3~4 |
| 3.連結損益計算書 | P.5 |
| 4.連結貸借対照表 | P.6 |
| 5.仕向け地別売上高推移(日本除く) | P.7 |
| 6.主要品目別売上高推移 | P.8~9 |
| 7.主要品目紹介 | P.10 |
| 8.FY25通期連結業績予想 | P.11 |
| 9.FY25配当予想の修正(増配) | P.12 |
| 10.中国事業の見直しについて | P.13~14 |
| 11.TOPICS | P.15~18 |

セグメント(製造拠点)別状況



進化の奥の更なる真価へ

日本

売上高

8,991百万円

営業利益

13百万円

前年同期

売上高 10,954百万円、営業利益 354百万円

製造拠点

- 茨城
- 群馬

仕向け地

- 日本
- 米国
- 東南アジア
- 台湾
- 中近東 など

主要製品

- 建設用クレーン
- 油圧ショベル等

TOPICS

- 前年同期に計上していた東南アジア向けの大口販売が今期は発生せず
- 米国向け輸出が縮小

欧州

売上高

1,129百万円

営業利益

16百万円

前年同期

売上高 1,498百万円、営業利益 21百万円

製造拠点

- イタリア

仕向け地

- EU諸国 など

主要製品

- 油圧ショベル等

TOPICS

- 金融引き締め継続に伴い、需要が減少

中国

売上高

703百万円

営業利益

△109百万円

前年同期

売上高 623百万円、営業利益 △272百万円

製造拠点

- 昆山
アモイ
- 廈門

仕向け地

- 中国 など

主要製品

- 油圧ショベル等

TOPICS

- 中国子会社2社の解散・清算に伴う子会社整理損(特別損失)約70億円を2Q以降に計上予定

※ P.13~14に詳細記載

連結業績サマリー



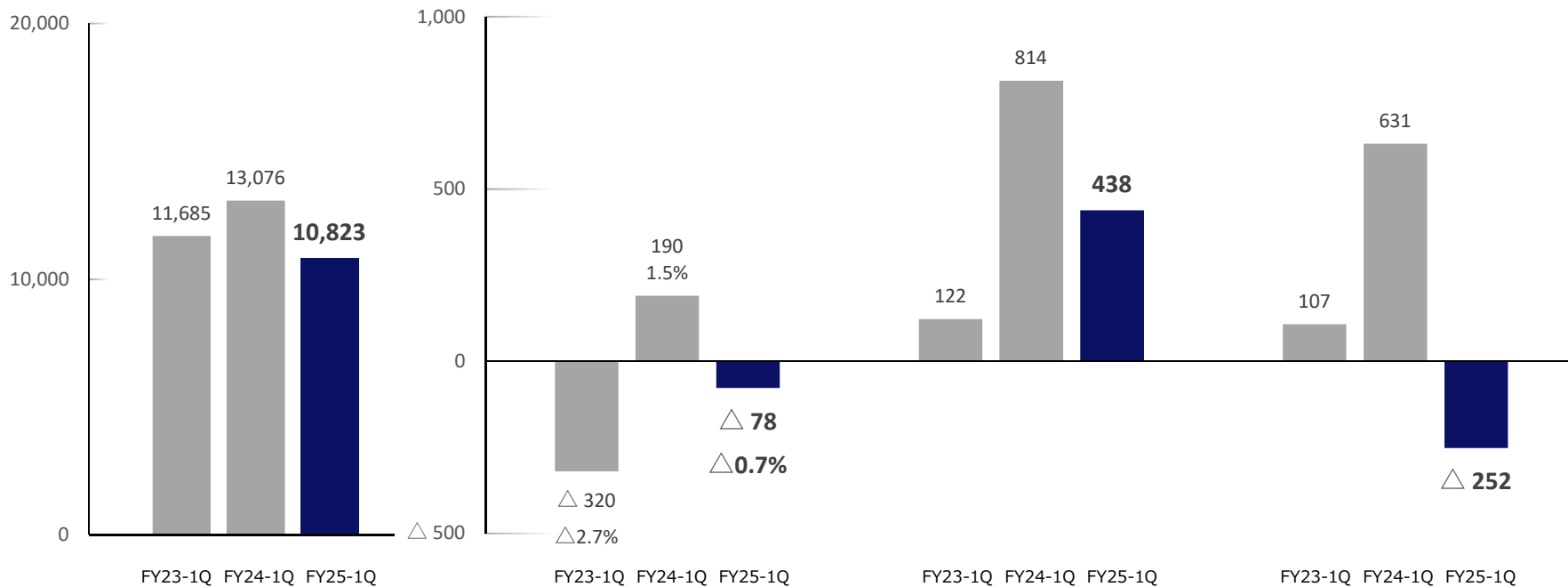
(単位：百万円)

売上高
10,823
前年同期比
(**↓** △17.2%)

営業利益・率
△78
前年同期比
(**↓** -%)

経常利益
438
前年同期比
(**↓** △46.2%)

親会社株主
当期純利益
△252
前年同期比
(**↓** -%)



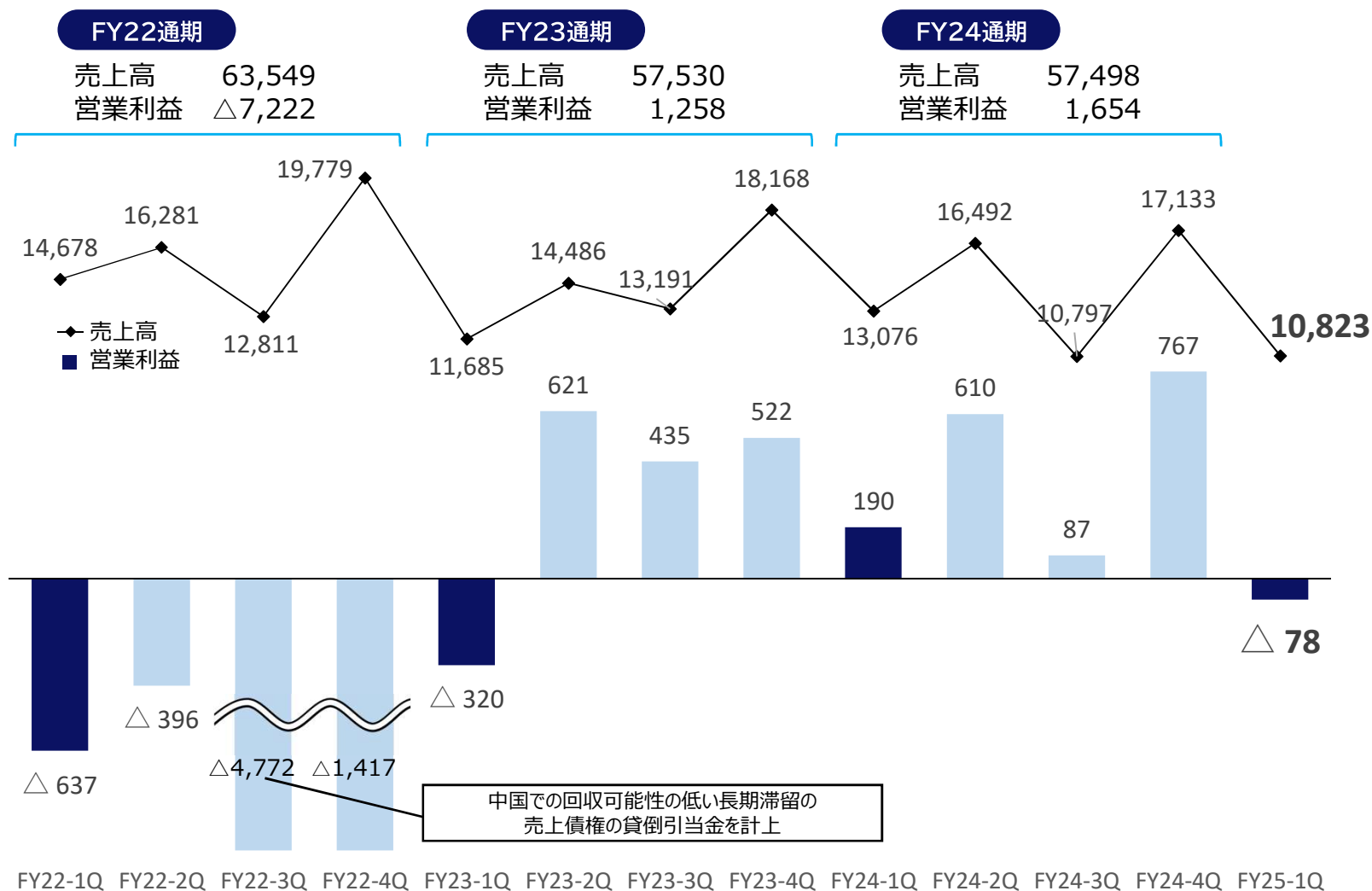
連結業績サマリー(四半期毎の売上高・営業利益)



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

✓季節性：2・4Qに販売が集中する傾向



連結損益計算書



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

| | FY24-1Q | | FY25-1Q | | 前年同期比 | |
|------------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 13,076 | 100.0% | 10,823 | 100.0% | △ 2,252 | △ 17.2% |
| 売上原価 | 10,749 | 82.2% | 9,074 | 83.8% | △ 1,674 | △ 15.6% |
| 売上総利益 | 2,327 | 17.8% | 1,749 | 16.2% | △ 578 | △ 24.8% |
| 販管費 | 2,137 | 16.3% | 1,827 | 16.9% | △ 309 | △ 14.5% |
| 営業利益 | 190 | 1.5% | △ 78 | △ 0.7% | △ 268 | - |
| 営業外損益 | 624 | 4.8% | 517 | 4.8% | △ 107 | △ 17.2% |
| 経常利益 | 814 | 6.2% | 438 | 4.0% | △ 376 | △ 46.2% |
| 特別損益 | 0 | 0.0% | △ 427 | △ 3.9% | △ 427 | - |
| 税前利益 | 814 | 6.2% | 10 | 0.1% | △ 803 | △ 98.7% |
| 法人税等 | 191 | 1.5% | 270 | 2.5% | 78 | 40.8% |
| 非支配株主当期純利益 | △ 8 | △ 0.1% | △ 6 | △ 0.1% | 1 | - |
| 親会社株主当期純利益 | 631 | 4.8% | △ 252 | △ 2.3% | △ 883 | - |

✓売上高：一部大型製品の販売時期が先送りになったことにより、前年同期比△2,252

✓原価率：82.2% → 83.8%（1.6ポイント悪化）販売総額の減少により原価上昇

✓営業外損益：円安による為替損益+350、ホテル事業での賃貸収益+24など

✓特別損益：中国事業の見直しによる子会社整理損を一部計上

連結貸借対照表



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

FY24-4Q
総資産105,330

FY25-1Q
総資産101,141(△4,188)

| | | | |
|--------------------|--------|--------------------|--------|
| 流動資産 82,814 | | 流動負債 38,420 | |
| ・手許資金 | 22,566 | ・仕入債務 | 13,624 |
| ・売上債権 | 26,132 | ・短期借入金 | 20,906 |
| ・たな卸資産 | 35,521 | ・その他 | 3,887 |
| ・その他 | △1,405 | | |
| | | 固定負債 15,358 | |
| | | ・長期借入金 | 14,780 |
| | | ・その他 | 576 |
| | | 純資産 51,551 | |
| | | ・利益剰余金 | 34,431 |
| | | ・評価換算差額等 | 5,977 |
| | | ・その他 | 11,141 |
| 固定資産 22,515 | | | |
| ・有形固定資産 | 16,833 | | |
| ・無形固定資産 | 706 | | |
| ・投資その他資産 | 4,976 | | |

資産

負債・純資産

| | | | |
|--------------------|--------|--------------------|--------|
| 流動資産 78,790 | | 流動負債 35,633 | |
| ・手許資金 | 13,710 | ・仕入債務 | 15,012 |
| ・売上債権 | 23,277 | ・短期借入金 | 16,794 |
| ・たな卸資産 | 42,567 | ・その他 | 3,824 |
| ・その他 | △764 | | |
| | | 固定負債 14,054 | |
| | | ・長期借入金 | 13,581 |
| | | ・その他 | 472 |
| | | 純資産 51,453 | |
| | | ・利益剰余金 | 33,651 |
| | | ・評価換算差額等 | 6,594 |
| | | ・その他 | 11,206 |
| 固定資産 22,351 | | | |
| ・有形固定資産 | 16,699 | | |
| ・無形固定資産 | 818 | | |
| ・投資その他資産 | 4,833 | | |

資産

負債・純資産

✓**売上債権** ※
 ・日本 15,074
 ・欧州 2,529
 ・中国 7,669
 回転期間 196.2日

✓**たな卸資産** ※
 ・日本 34,511
 ・欧州 3,137
 ・中国 5,342
 回転期間 358.9日

※連結修正前の参考数値であり
貸借対照表の数値と一致いたしません

✓**資本効率**
 中国事業の売上債権、たな卸資産が
 各回転期間の長期化の要因であり、
 中国事業の見直しが完了する
 来期以降に、回転期間は
大幅に改善する見込み

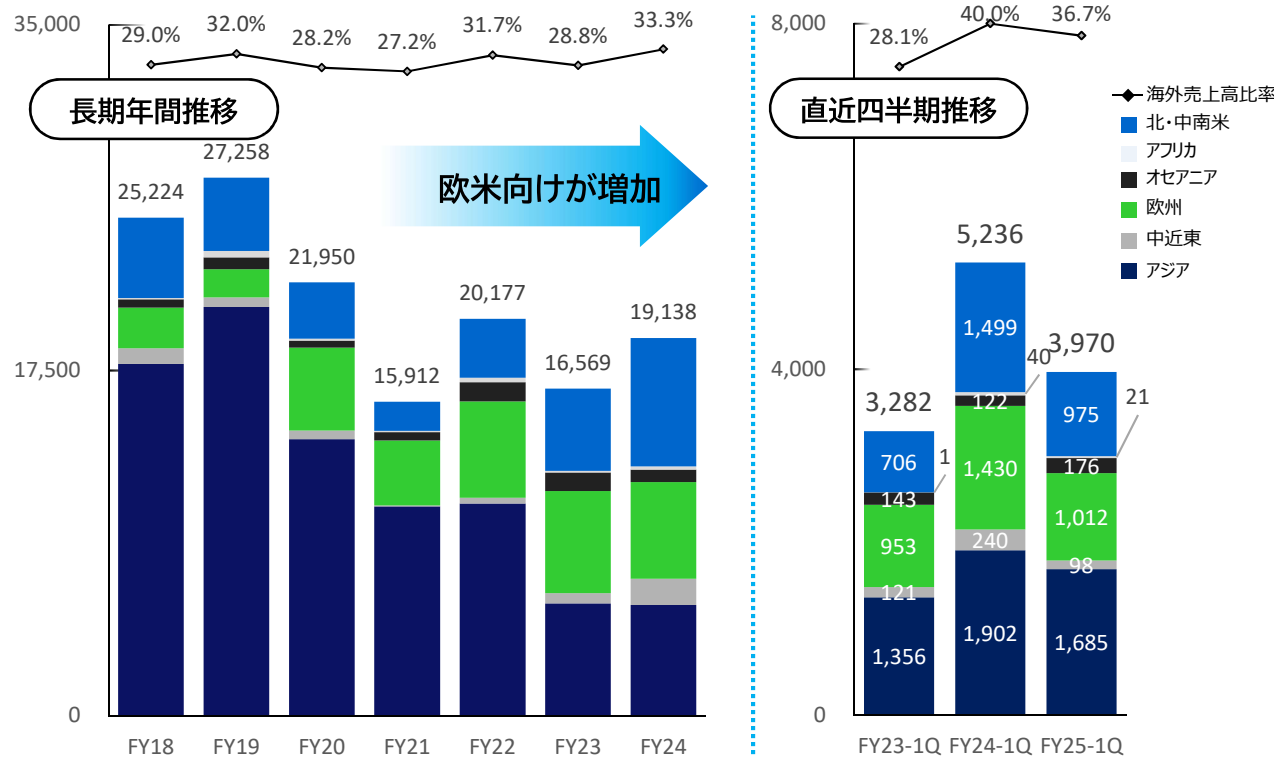
✓**負債**
 現預金の圧縮と借入金の
 返済進行により、金利負担を抑制

✓**純資産比率**
 50.8%と引き続き高い、
 純資産比率を維持

仕向け地別売上高推移(日本除く)

(単位：百万円)

| | FY23-1Q | | FY24-1Q | | FY25-1Q | | 前年同期比 | | 総売上高 構成比 |
|---------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|----------------|---------------|--------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | |
| アジア | 1,356 | 41.3% | 1,902 | 36.3% | 1,685 | 42.5% | △ 216 | -11.4% | 15.6% |
| 中近東 | 121 | 3.7% | 240 | 4.6% | 98 | 2.5% | △ 141 | -59.1% | 0.9% |
| 欧州 | 953 | 29.0% | 1,430 | 27.3% | 1,012 | 25.5% | △ 417 | -29.2% | 9.4% |
| オセアニア | 143 | 4.4% | 122 | 2.3% | 176 | 4.4% | 53 | 43.2% | 1.6% |
| アフリカ | 1 | 0.0% | 40 | 0.8% | 21 | 0.6% | △ 18 | -46.0% | 0.2% |
| 北・中南米 | 706 | 21.5% | 1,499 | 28.6% | 975 | 24.6% | △ 523 | -34.9% | 9.0% |
| 海外売上高合計 | 3,282 | 100.0% | 5,236 | 100.0% | 3,970 | 100.0% | △ 1,265 | -24.2% | 36.7% |



海外事業の変容

✓ **アジアから欧米へシフト**
 主に中国向けの減収が続き、アジア向けの売上高比率は低下一方で、アメリカ向けや欧州向けに注力するなど、海外での売上高を確保

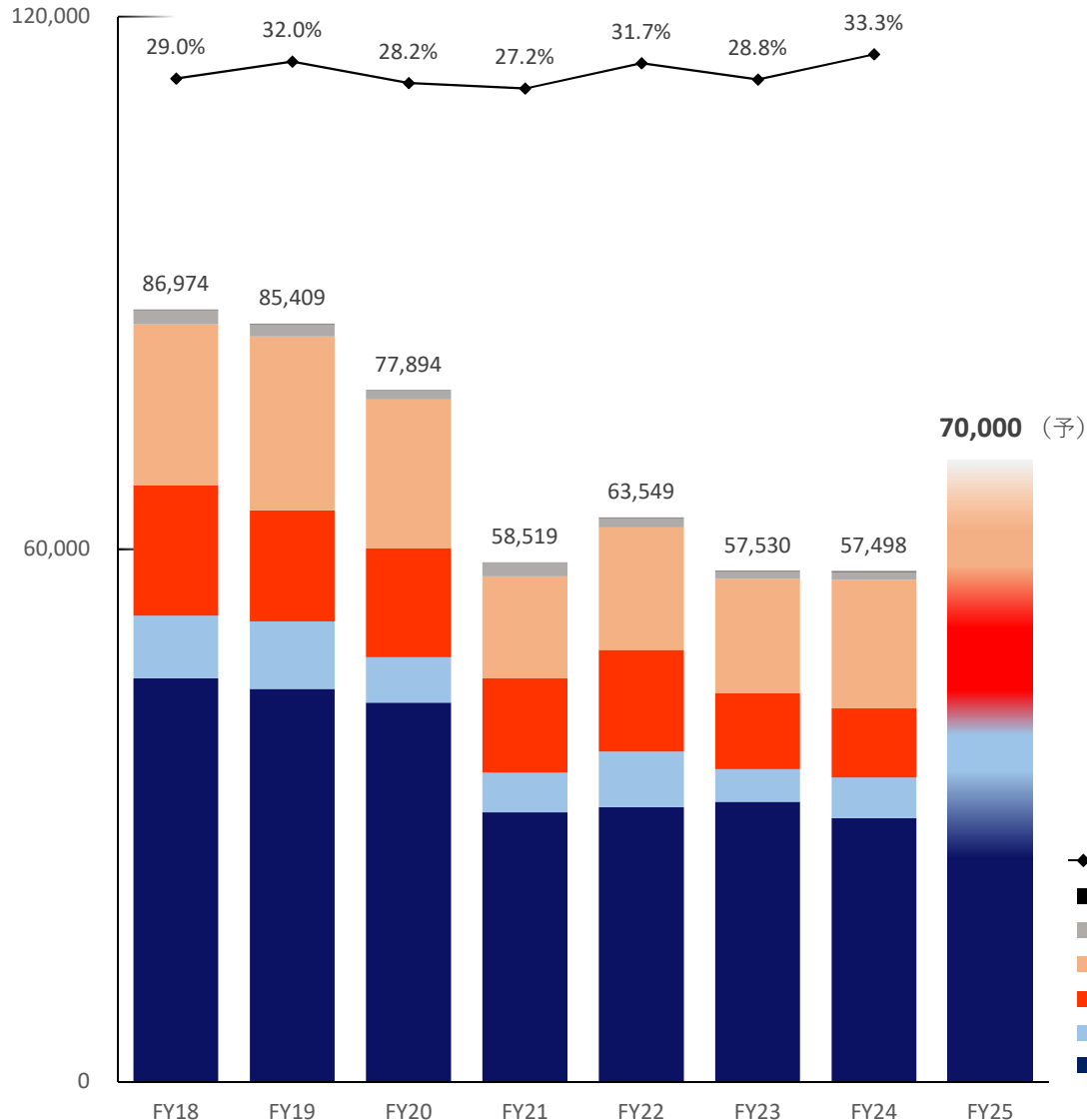
北・中南米
 需要の引き締めにより前年同期比減収

欧州
 経済活動が鈍化し前年同期比減収

アジア
 中国市場で低迷が続く前年同期比減収

主要品目別売上高推移

(単位：百万円)



売上高達成見込み

✓国内売上高の回復により欧米向けの需要減をカバーし連結売上高700億円達成を見込む

建設用クレーン

国内：前期から発生していた一部機種の主要部品供給制約が徐々に解消し、期末に向け販売台数増加およびシェア回復を見込む

油圧ショベル等

国内：販売強化施策を実施
2Q以降に大口販売等によりシェア拡大を見込む

海外：欧米向けは昨年度比減少見込み

- ◆ 海外売上高比率
- 海外その他
- 国内その他
- 海外油圧ショベル等
- 国内油圧ショベル等
- 海外クレーン
- 国内クレーン

主要品目別売上高推移



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

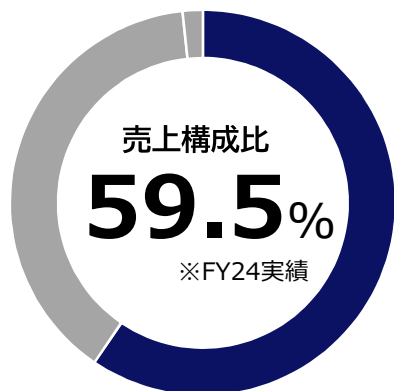
| | FY23-1Q | | FY24-1Q | | FY25-1Q | | 前年同期比 | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 建設用クレーン | | | | | | | | |
| 国内売上高 | 6,308 | 54.0% | 6,195 | 47.4% | 5,164 | 47.7% | △ 1,030 | △16.6% |
| 海外売上高 | 801 | 6.9% | 1,629 | 12.5% | 1,202 | 11.1% | △ 427 | △26.2% |
| 計 | 7,109 | 60.8% | 7,825 | 59.8% | 6,367 | 58.8% | △ 1,458 | △18.6% |
| 油圧ショベル等 | | | | | | | | |
| 国内売上高 | 1,839 | 15.7% | 1,482 | 11.3% | 1,542 | 14.3% | 60 | 4.1% |
| 海外売上高 | 2,481 | 21.2% | 3,578 | 27.4% | 2,768 | 25.6% | △ 809 | △22.6% |
| 計 | 4,320 | 37.0% | 5,060 | 38.7% | 4,310 | 39.8% | △ 749 | △14.8% |
| その他 | | | | | | | | |
| 国内売上高 | 255 | 2.2% | 162 | 1.2% | 145 | 1.3% | △ 16 | △10.4% |
| 海外売上高 | 0 | 0.0% | 27 | 0.2% | 0 | 0.0% | △ 27 | △99.8% |
| 計 | 256 | 2.2% | 190 | 1.5% | 145 | 1.3% | △ 44 | △23.5% |
| 合計 | | | | | | | | |
| 国内売上高合計 | 8,403 | 71.9% | 7,840 | 60.0% | 6,853 | 63.3% | △ 987 | △12.6% |
| 海外売上高合計 | 3,282 | 28.1% | 5,236 | 40.0% | 3,970 | 36.7% | △ 1,265 | △24.2% |
| 計 | 11,685 | 100.0% | 13,076 | 100.0% | 10,823 | 100.0% | △ 2,252 | △17.2% |

主要品目紹介

KATO

進化の奥の更なる真価へ

建設用クレーン



ラインナップ

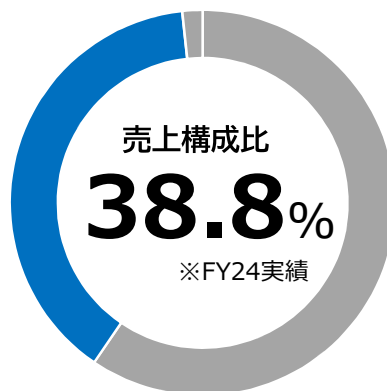


- ✓ラフテレーンクレーン※車両運転席クレーン操縦席一体型
- ✓オールテレーンクレーン※車両運転席クレーン操縦席分離型
- ✓クローラクレーン
など幅広い移動式建設用クレーンを製造・販売

用途

- ✓インフラ、ビル、住宅の建設現場などで使用

油圧ショベル等



油圧ショベル

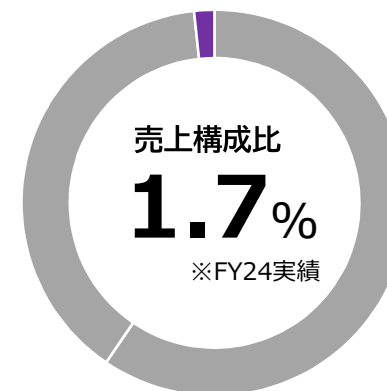


- ✓ミニショベル(車両重量0.9~10t)
- ✓中大型ショベル(車両重量8~50t)
まで幅広く製造・販売
- ✓建設地の造成や建築物の解体などに使用

クローラキャリア



その他



路面清掃車



万能吸引車



スノースイーパー



- ✓販売先は公的機関や空港など
売上構成比は低いものの、競合少なく
幅広い特装車を製造・販売

FY25通期連結業績予想の修正



進化の奥の更なる真価へ

✓中国子会社2社（油圧ショベル事業）の解散及び清算協議（P.13～14に記載）を行っていたことから、業績への影響を精査中であつたため、当期純利益及び配当の予想を未定としておりましたが、現時点における入手可能な情報をもとに、業績予想の修正を公表いたします

（単位：百万円）

売上高

70,000

前期比 57,498 (↑ +21.7%)

営業利益

2,100

前期比1,654 (↑ +27.0%)

経常利益

1,500

前期比2,575 (↓ △41.8%)

親会社株主
当期純利益

△5,400

前期比4,235 (↓ -%)

〉 ※ 2024年5月14日公表の業績予想から変更なし

※ 想定為替レート

| 為替レート | FY25 | |
|-----------|-------|-------|
| | 上期 | 下期 |
| USD / JPY | 135.0 | 130.0 |
| CNY / JPY | 22.0 | 22.0 |

〉 中国子会社2社の解散・清算に伴う子会社整理損（特別損失）
約70億円を2Q以降に計上予定
※ 今回公表

FY25配当予想の修正(増配)



進化の奥の更なる真価へ

✓従来からの安定配当の方針は維持

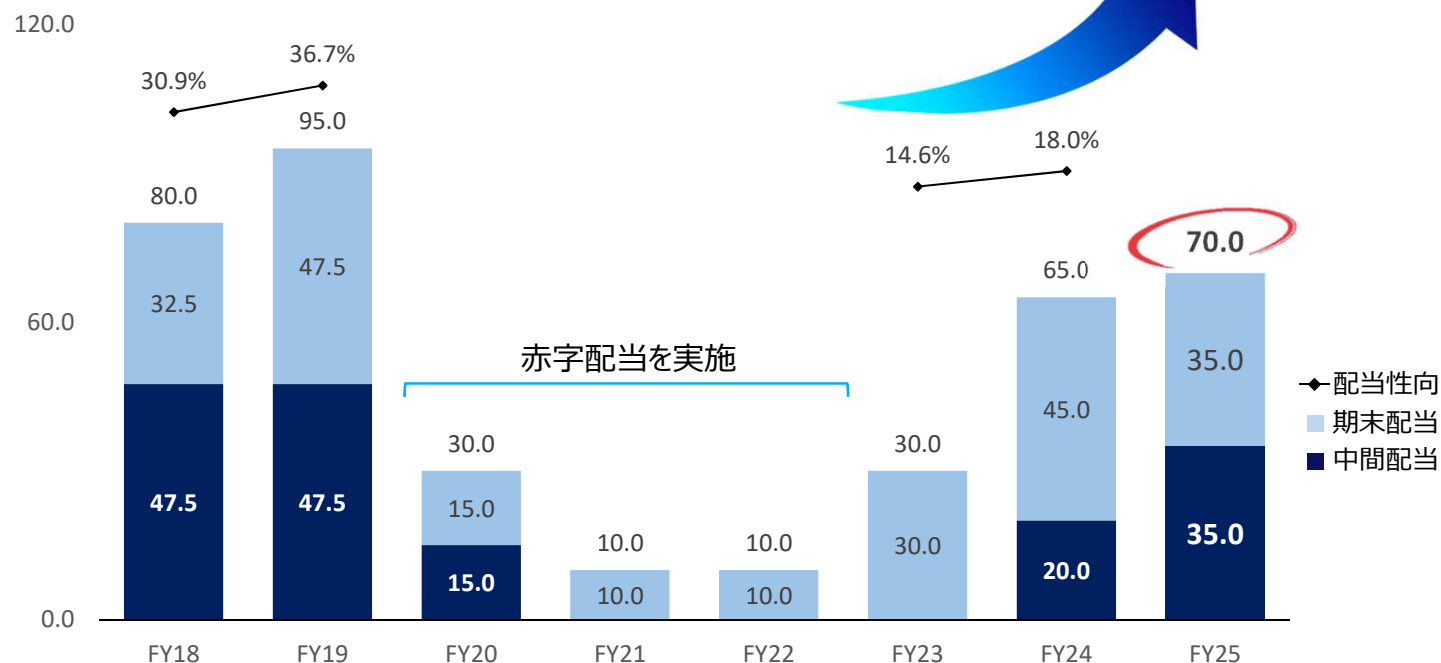
✓中国子会社2社の解散・清算に伴う子会社整理損（特別損失）を計上予定であり、業績は一時的に悪化するものの、中計にて掲げた収益性の改善施策により、将来にわたって利益確保が見込めることや株主還元強化の観点から前期比+5円の増配予定

配当予想

35円 (中間) **35円** (期末) **70円** 前期比 (↑ +5円)

株主還元強化

**3期連続
増配予定**



中国事業の見直しについて

KATO

進化の奥の更なる真価へ

- ✓ 中国国内では不動産不況を起因としたインフラ投資の鈍化による建設機械の需要の低迷、廉価製品を扱う地場メーカーの台頭もあり、同国内での事業の将来性や継続リスクを踏まえ、子会社2社の解散及び清算に向けた決議をいたしました
- ✓ 2Q以降に子会社整理損（特別損失）を約70億円計上予定

加藤(中国)工程机械有限公司



- 所在地 中国江蘇省昆山市
- 主要製品 中大型油圧ショベル
- 設立 2004年2月
- 資本金 62,500千ドル

› 2024年7月12日
「連結子会社の解散及び清算に関するお知らせ」にて開示済み

加藤中駿^{アモイ}(廈門)建機有限公司



- 所在地 中国福建省廈門市
- 主要製品 ミニショベル
- 設立 2004年10月
(2018年IHI建機と共に買収)
- 資本金 3000万人民元

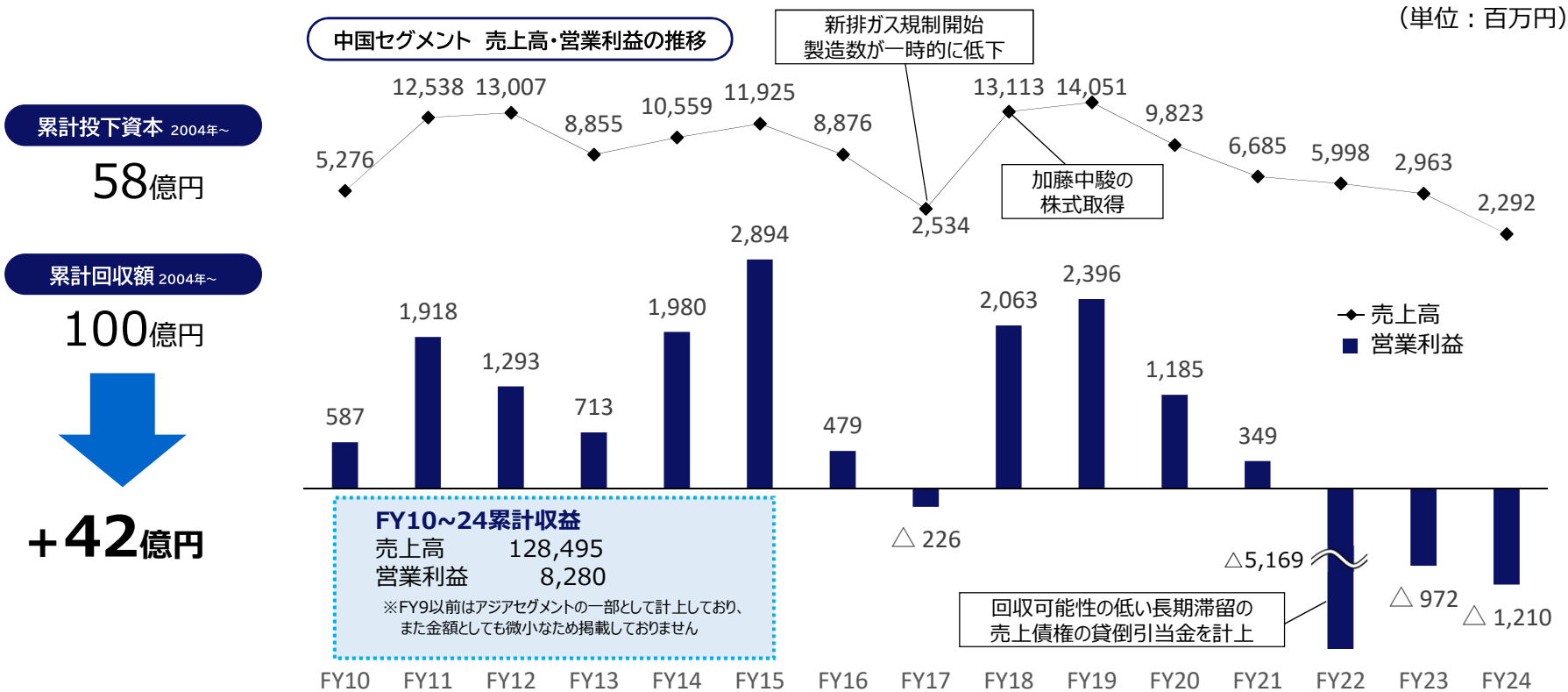
› 2024年6月20日
「連結子会社の解散及び清算に関するお知らせ」にて開示済み

今後の中国での事業活動について

※以降のページからそれぞれ加藤中国、加藤中駿と記載

- ✓ 在庫・部品の販売および売上債権の回収は継続
- ✓ 中国に連絡事務所を開設し、現地顧客へのアフターサービスなどの業務引継ぎを実施予定

中国事業の見直しについて



- 海外事業ポートフォリオの見直し
- ✓ 中国事業は累計投下資本に対し、+42億円
 - ✓ インド最大手のクレーン製造販売企業と次なる飛躍に向け、合併会社設立の協議を進行中
 - ✓ 海外ポートフォリオの見直しを推進中

TOPICS

1

全旋回式クローラキャリアIC70R
機械工業デザイン賞 IDEA
審査委員会特別賞を受賞



Innovative & Inventive
Design Excellence
Award



- **7月19日**
日刊工業新聞社主催の第54回機械工業デザイン賞IDEAにおいてIC70Rが審査委員会特別賞を受賞
- **評価ポイント**
全旋回機能を実装し便利さを追求
また、新設計のフレームで低重心を実現したことや、視認性の良い操縦席を採用したことで安全性も高めた設計が
高い評価を得た

※2024年8月1日プレスリリース

TOPICS

2

50t吊り新型ラフテレーンクレーン
「SL-500RfⅢ」 6月より販売開始



SL-500RfⅢ

- **クリーンエンジンを搭載**
 - ・排出ガス規制Stage V(欧州) に適合
- **低騒音**
 - ・国土交通省が一定の基準値を下回り相当程度騒音が軽減された建設機械に与える「低騒音型建設機械」の指定を取得
- **標準小売価格**
 - ¥79,000,000(税別)より
- **販売目標**
 - 100台 / 年

※2024年6月18日プレスリリース

TOPICS

3

23tクラスの中大型油圧ショベル
HD823MR-8 5月より販売開始



HD823_{MR}-8
REGZAM HYDRAULIC EXCAVATOR

- **クリーンエンジンを搭載**
 - ・特定特殊自動車排出ガス規制2014年基準(日本)
 - ・排出ガス規制Stage V(欧州) に適合
- **ランニングコスト削減**
 - ・冷却水量
 - ・作動油量
 - をそれぞれ10%低減し交換にかかるコストを削減
- **標準小売価格**
¥25,000,000(税別)より
- **販売目標**
500台 / 年

※2024年6月6日プレスリリース

TOPICS

4

インド共和国での合弁会社設立に向けた現地企業との提携について (進捗報告)



JAPAN



INDIA

- **合弁企業**
インド最大手のクレーン製造・販売企業である Action Construction Equipment Ltd. (以下、ACE 社) とインド国内での合弁会社設立に向けた協議を実施中
- **製品**
当該合弁会社では、現在 ACE 社が保有する中・大型クレーン（主にトラッククレーン、クローラクレーン、ラフテレーンクレーン）事業を承継し、まずはインド国内販売向けに移動式クレーンの生産を開始する予定
- 同事業が中長期的な当社収益の柱として確実に成長していくよう事業基盤の整備に努めてまいります

※2024年6月20日公表

The KATO logo is displayed in white text on a dark blue rectangular background.

株式会社 加藤製作所

お問い合わせ先
コーポレートコミュニケーション部
〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37
E-Mail : ir-kato@kato-works.co.jp

注意事項

本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。

実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

進化の奥の更なる真価へ